

慈恩寺 Times

第25号

【発行】

寒河江市教育委員会 生涯学習課

【発行日】

平成 29 年 7 月 20 日 (木)

【問合せ・ご意見等】

寒河江市教育委員会 生涯学習課

慈恩寺歴史文化振興室 歴史文化係

TEL: 0 2 3 7-8 6-8 2 3 1

E-mail :shogaku@city.sagae.yamagata.jp

史跡整備計画の策定が始動～整備検討委員会を設置～



6月23日(金)、第1回史跡慈恩寺旧境内整備検討委員会が市文化センターで開かれました。

委員会は、昨年度末に策定された「史跡慈恩寺旧境内保存活用計画」で定めた整備方針の具体化に向けて、整備基本計画を立てることを目的とし、下記の10名の委員と2名のオブザーバーで構成されます。

整備には、江戸時代に復興し、今でも良好に残る慈恩寺のたたずまいを伝えていくための「保存」と、建物の復

委員

- 伊藤 清郎 (委員長 山形大学名誉教授。歴史学)
- 宇井 啓 (副委員長 寒河江市史編纂専門員、寒河江市文化財保護委員長。歴史学・文化財)
- 北畠 教爾 (河北町阿弥陀寺住職、寒河江市史編纂委員。歴史学)
- 北野 博司 (東北芸術工科大学芸術学部教授。考古学・文化財)
- 阿子島 功 (山形大学名誉教授。自然地理学)
- 田中 敏秋 (寒河江市文化財保護委員。植物学)
- 永井 康雄 (山形大学工学部教授。建築学)
- 奥平 暁俊 (本山慈恩寺宗務長。慈恩寺地区)
- 長谷川清繁 (慈恩寺区長。慈恩寺地区)
- 大沼 保義 (慈恩寺「悠久の魅力」向上基本計画推進協議会会長。有識者)

オブザーバー

- 坂井 秀弥 (奈良大学文学部教授。考古学・文化財・史跡整備)
- 鈴木 啓助 (信州大学理学部教授。山岳自然環境学)

元やガイダンス施設設置など史跡を訪れた人が理解を深めるための「活用」の2本の柱があります。この日は、文化庁の指針や、文化庁・中井将胤(なかいのり)文化財調査官による前日の講演(裏面掲載)をもとに、整備計画の目次案を検討し、計画を策定する中でポイントとなる点を確認しました。また、中井調査官からは、整備計画の策定にあたって必要なア

ドバイスなどをいただきました。この他、史跡指定にあたり指導をいただいた文化庁・佐藤正知主任文化財調査官より提案のあった、慈恩寺十景詩をもとにした名所づくりについても検討しました。委員会は今年度中に5回開催します。年度末に「史跡慈恩寺旧境内整備基本計画」を策定し、次の段階である整備事業につなげていきます。

史跡慈恩寺旧境内
関連事業
達成
メーター



・文部科学大臣による
国史跡指定
(官報告示)

・保存活用計画策定

・整備基本計画策定
・史跡の追加指定に
向けた調査

・整備事業開始



文化庁調査官が講演

全国の史跡整備を学ぶ

6月22日(木)、市文化センター中公ホールで第5回慈恩寺講演会が開催されました。当日は70名が参加し、文化庁で史跡整備を担当している中井将胤(なかいまさゆき)文化財調査官に「史跡等の整備について」と題し、全国の史跡整備の事例と、慈恩寺旧境内の整備のこれからについてお話ししていただきました。概要は次の通りです。

史跡整備のサイクルは、約20年で一周し、その後、次のサイクルに移行し、再整備となる。慈恩寺旧境内は7つの段階のうち、2番目の段階(保存・活用・整備に係る計画の策定)にある。最初の整備は、史跡の標柱や境界杭の設置で、史跡の場所を明示する。

保存目的の整備は、今ある遺構を保護して後世に伝えていくもので、活用目的の整備は、公開や遺構の表示等で来訪者に理解を深めてもらうもの。函館の五稜郭では、発掘と文献と写真をもとに、瓦の数まで数え、建物復元した。

一方、有名になりすぎて、観光客が多くなり、地表が荒れて、保存が追いついていない史跡もある。また、復元で設定した時代になかったものを設置し、訪れた人の誤解を招いた例もある。



史跡の追加指定に向けて 調査検討委員会が発足

慈恩寺の史跡追加指定に向けて、慈恩寺調査検討委員会が発足しました。慈恩寺一帯には、現在の史跡範囲外にも、慈恩寺の古い姿を良好に残す場があると考えられます。この価値を明らかにすべく、調査を重ねていきます。



5月29日(月)の会議では、今年度の調査地や調査方法について、話し合われました。

ガイドランス施設の外装は、景観に合わせたもの、テーマに合わせたもの、地域の特色を示す建物を復元したものなどがある。史跡を守っていくには、体制作りと連携を図ることが重要だ。全国には、地域と連携してイベントを活発に行っているところ、伝統的な工法を整備により伝承しているところがある。この後、熊本城など、熊本地震後の史跡の現状についてもお話しいただきました。最後に、文化財の適切な継承、管理者と地域との連携、地域の文化財は地域で守るのが理想。親から孫へではなく、子へ一代一代継承していくことが大事だ、とまとめられました。

イベント情報

第6回 悠久の里慈恩寺コンサート

ウェイウェイ・ウー 二胡の響宴

日時 8月26日(土)午後7時開演(開場午後6時)

会場 本山慈恩寺本堂前特設舞台

※悪天候時は寒河江市市民文化会館

入場料 前売券 3,000円 当日券 4,000円

※全席自由。前売り完売時は当日券販売なし

チケット販売所 寒河江市文化センター、

西部地区公民館、慈恩寺寺務所ほか

問合せ 寒河江市文化センター Tel 0237-86-5111

好評発売中!



ウェイウェイ・ウー 上海生まれ。1991年来日。TBS系ドラマ「JIN-仁-」オープニングテーマ「JIN-仁-Main Title」やNHK「ダーウィンが来た! 生きもの新伝説」エンディングテーマを担当するなど、スタイリッシュで華麗なテクニックを誇る二胡奏者として活躍中。

紫燈護摩会

慈恩寺一山の衆徒が、護摩を焚き上げ、護摩札の祈願文を読みながら祈禱します。

日時 9月10日(日)午前10時～

会場 慈恩寺白山堂前護摩炉

問合せ 本山慈恩寺

／Tel 0237-87-3993



寒河江市ホームページ上に「慈恩寺 Times」バックナンバーを掲載中!

慈恩寺 Times

検索